



2019年3月期第1四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2018年8月8日

2019年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員
北畠 一明

2018年8月8日

概ね今年度のガイダンスに沿ったスタート

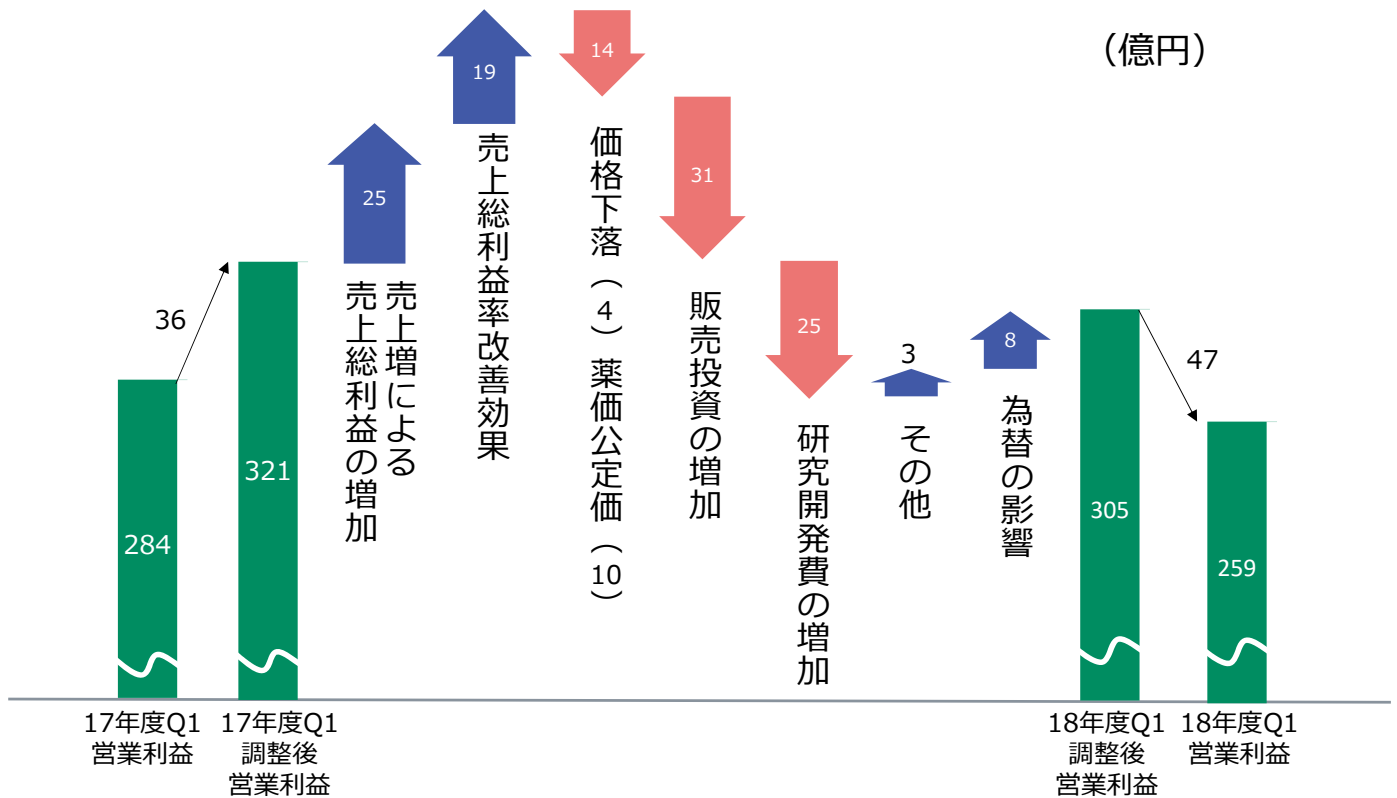
(億円)

	17年度Q1	18年度Q1	増減率	為替除く 増減率
売上収益	1,393	1,430	+3%	+2%
売上総利益	759 (54.5%)	799 (55.8%)	+5%	+4%
一般管理費	402 (28.9%)	435 (30.4%)	+8%	+8%
研究開発費	85 (6.1%)	113 (7.9%)	+33%	+34%
その他収益費用	12	8	-	-
営業利益	284 (20.4%)	259 (18.1%)	-9%	-11%
調整後営業利益	321 (23.0%)	305 (21.4%)	-5%	-6%
税引前利益	282 (20.2%)	234 (16.4%)	-17%	
当期利益	203 (14.6%)	181 (12.6%)	-11%	

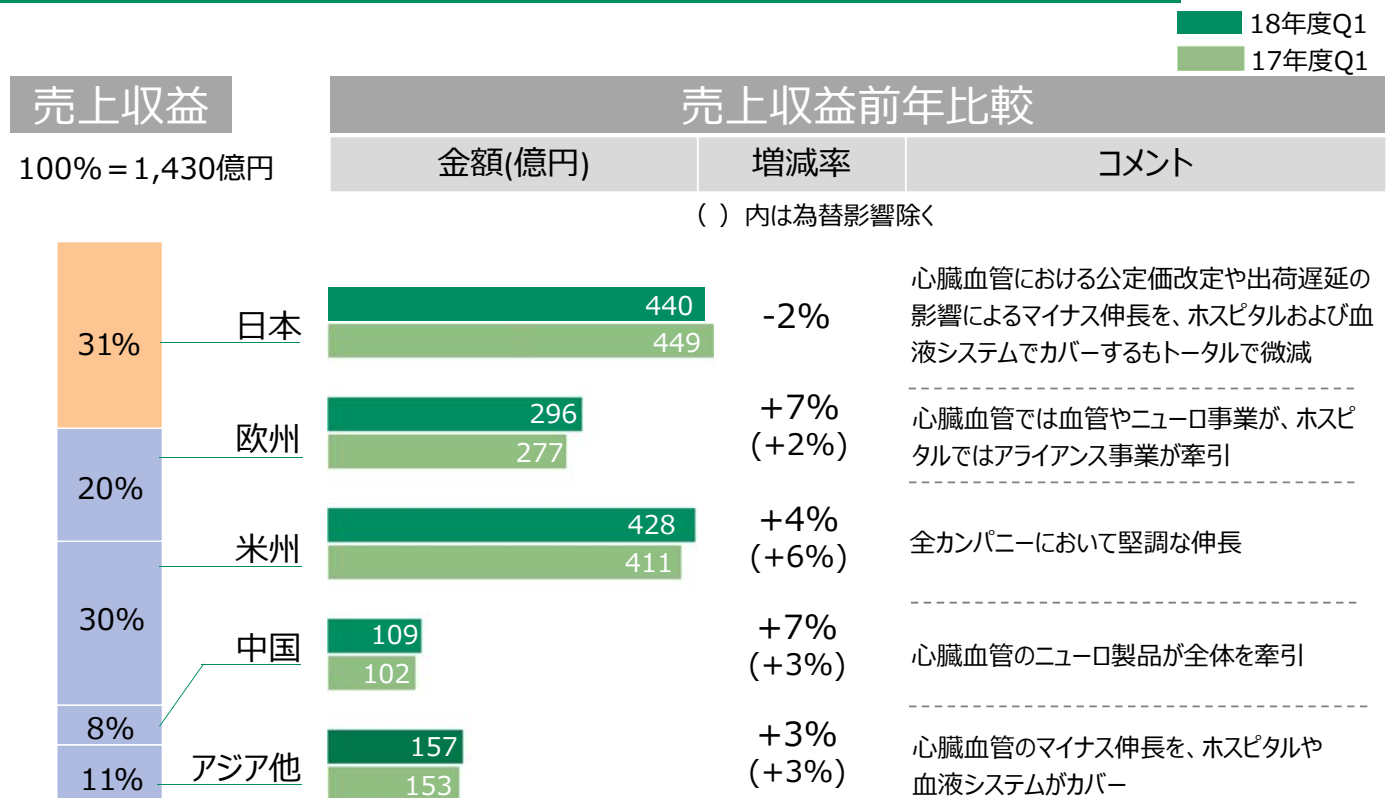
期中平均レート
USD 111円 109円
EUR 122円 130円

- 売上収益 : 公定価改定や出荷遅延の影響を受けた心臓血管に代わり、ホスピタル・血液が牽引
- 調整後営業利益 : 費用の進捗が遅かった17年度Q1と比べ、18年度Q1は計画通りの進捗
- 税引前利益 : 前年同期の為替差益（2億）に対し、今年度は差損（23億）
- 当期利益 : 為替差損を除けば計画通りのレベル

調整後営業利益増減分析 (IFRS)



地域別売上収益



カンパニー別売上収益

18年度Q1
17年度Q1

売上収益

100% = 1,430億円

売上収益前年比較



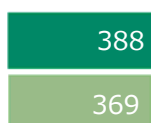
心臓
血管



+1%
(0%)

国内における公定価改定や出荷遅延の影響によるマイナス伸長を、海外がカバーし、トータルで微増

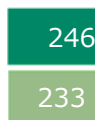
ホスピタル



+5%
(+5%)

国内は全般的に堅調に推移。海外は欧州を中心にアライアンス事業が牽引

血液
システム



+5%
(+5%)

血液センター向け製品が、中南米やアジアなどの新興国で二桁伸長

() 内は為替影響除く



心臓血管：上期のガイダンスに沿った減益

(億円)

	17年度Q1	18年度Q1	増減率	主なトピック	金額
売上 収益	791	795	+1% (0%)	TIS : 国内の公定価改定や出荷遅延の影響。	
				カーディオロジー治療製品が減少	-10
				ニューロ : 二桁伸長を継続	+12
				CV : 再出荷の心肺装置が米国で堅調	+1
				血管 : ボルトン社買収の影響が一巡	+2
調整後 営業 利益 (率)	212 (27%)	199 (25%)	-6% (-7%)	TISやニューロにおいて、一般管理費や研究開発費の進捗が遅かった17年度Q1と比べ、18年度Q1は計画通りに進捗	

() 内は為替影響除く



主なトピックス

全社

- 「イクボス企業同盟」に加盟。多様な働き方を推進（6月）



- 静脈可視装置「ベインビュー」を発売（4月）



- 胸部大動脈用ステントグラフト「RelayPro」を欧州で発売（4月）



- 薬剤溶出型ステント「Ultimaster Tansei」、CE認証取得し欧州で発売（4月）



事業

- 米国デクスコム社と提携。持続血糖測定器の日本での独占販売権取得（5月）

- 日本初のスプレー式癒着防止材の開発で高分子学会賞を受賞（5月）



- 日本企業初、下肢用・薬剤塗布バルーン「Kanshas」のCE認証取得（6月）



18年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	領域	製品	地域
アクセス	ディスタルラジアル用止血デバイス	日	CV	次世代人工肺	◎ 日・米
心臓	PTCAバルーン	米		次期・血液モニター	欧・米・亜
	PTCAバルーン	日欧亜	血管	胸部用ステントグラフト（低プロファイル）	★ 済み
DES（Ultimaster Tansei）	◎ 欧：済み 日亜：下期	腹部用ステントグラフト（アナコンダ細径）		欧	
ペリフェラル	ステント（TRI）	★ 日米	医療器	静脈可視装置	済み
	PTAバルーン（TRI）	★ 日米	DM	パッチ式・インスリンポンプ	日
	PTAガイディングシース（TRI）	★ 日米	血液	次期・成分採血装置ソフトウェア	欧米亜
	薬剤塗布バルーン	◎ ★ CE取得		自動製剤化装置・新ディスポ	欧米亜
脳	中間カテーテル（Sofia EX）	欧米			
	アシスト・バルーン	欧米			

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高



愛鷹工場・出荷遅延の状況

経緯

- 滅菌工程の最適性を評価する手法において、確認すべき事項判明
→ 5月下旬に関連する製品の出荷を一旦停止
- 6月以降、順次出荷を再開しているが、滅菌機毎、滅菌タイプ毎の確認が必要な為、当初の想定より時間がかかっていた
- 8月中に停止以前のレベルまで回復

今後の対応

- 他工場、外部施設の活用による滅菌能力拡大の検討・実施
- 一部の製品において、愛鷹工場から他工場への生産移管を検討

業績インパクト

- 国内：6月から影響を受け、8月まで影響が残る見込み
- 海外：海外工場は通常通り出荷しており、ある程度の在庫もあることから6月までの影響は限定的だが、Q2は相応のインパクトあり

業績予想の修正

通期業績のポイント

- 上期 愛鷹の出荷遅延影響により見直し
- 下期 ガイドンス通り（変更なし）
- 為替レート Q2以降 USD=105円、EUR=130円

(億円)

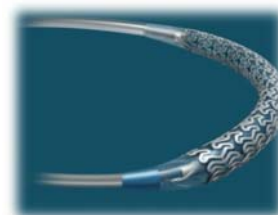
<上期>	売上収益	調整後営業利益	営業利益	当期利益
従来予想	2,930	615	545	395
今回修正予想	2,820	550	480	345
修正額	-110	-65	-65	-50

<通期>	売上収益	調整後営業利益	営業利益	当期利益
従来予想	6,080	1,285	1,145	835
今回修正予想	5,970	1,220	1,080	785
修正額	-110	-65	-65	-50

中国の現地化戦略が進展

Essen Technology社の買収（7月24日発表）

- 中国市場向け薬剤溶出型冠動脈ステント「Tivoli」
- 一時金約140億円＋マイルストーン、手元現金を充当
- DES市場で最大となる中国へ現地生産品で参入。既存製品群やチャネルとのシナジー創出
- 2018年中の手続き完了を目指す



現地合弁会社、腹膜透析液の製造販売承認を取得（8月6日発表）

- テルモとウェイガオ・グループとの合弁会社「ウェイガオテルモ社」
- テルモの技術と療法普及のノウハウ + ウェイガオ社の販売網
- 2018年中に、ウェイガオ社が販売開始予定

2019年3月期 第1四半期決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2018年3月期 第1四半期累計			2019年3月期 第1四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	9,581	46,036	55,617	7,597	-20.7%	46,997	2.1%	54,595	-1.8%
ニューロバスキュラー	696	7,231	7,927	815	17.1%	8,286	14.6%	9,102	14.8%
CV	2,551	8,198	10,750	2,420	-5.2%	8,458	3.2%	10,878	1.2%
血管	662	4,098	4,761	463	-30.0%	4,495	9.7%	4,959	4.2%
心臓血管カンパニー	13,491	65,566	79,057	11,296	-16.3%	68,239	4.1%	79,535	0.6%
医療器	11,507	5,983	17,490	11,767	2.3%	6,208	3.8%	17,976	2.8%
D&D	10,381	-	10,381	10,871	4.7%	-	-	10,871	4.7%
DM・ヘルスケア	4,943	661	5,605	5,031	1.8%	690	4.5%	5,722	2.1%
ホスピタルシステム小計	26,832	6,644	33,477	27,670	3.1%	6,899	3.8%	34,569	3.3%
アライアンス	2,115	1,275	3,390	2,495	18.0%	1,747	37.0%	4,243	25.2%
ホスピタルカンパニー	28,947	7,919	36,867	30,165	4.2%	8,646	9.2%	38,812	5.3%
血液システムカンパニー	2,422	20,911	23,333	2,494	3.0%	22,100	5.7%	24,595	5.4%
その他	53	-	53	53	-0.3%	23	-	76	42.3%
計	44,915	94,397	139,312	44,010	-2.0%	99,009	4.9%	143,020	2.7%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥111.09)
(EUR1=¥122.26)

(USD1=¥109.10)
(EUR1=¥130.03)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2018年3月期 第1四半期累計	2019年3月期 第1四半期累計
営業キャッシュ・フロー	15,002	12,452
投資キャッシュ・フロー	△ 8,937	△ 10,717
フリーキャッシュ・フロー	6,065	1,735
財務キャッシュ・フロー	11,851	△ 9,640
現金及び現金同等物の換算差額	832	2,990
現金及び現金同等物の増減	18,749	△ 4,914
現金及び現金同等物の期首残高	105,046	167,832
現金及び現金同等物の期末残高	123,795	162,918

参考情報

	2018年3月期 第1四半期累計	2019年3月期 第1四半期累計	2019年3月期 見通し
研究開発費	8,513	11,334	47,500
設備投資額	8,988	11,177	60,000
減価償却費及び償却費	10,066	10,569	43,000
基本的な一株当たり当期利益(円)	57.78	50.78	218.52

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。